



14時～17時

## － アフリカ開発のための市民社会と政府との対話－ ～新しい時代にTICADはどう変わるべきか？～

今、アフリカ開発をめぐる状況は、急激に変化しています。資源価格の高騰や多様な取り組みによって、アフリカの多くの国では経済成長も著しく、世界中からアフリカ首脳との「フォーラム」開催へのラブコールが引きもきらなくなっています。一方、近年急速に拡大する異常気象による洪水や干ばつなどの悪影響、食料価格高騰、貧困者数減少の停滞、選挙を誘引とした暴力的衝突の発生など、アフリカの人びとをめぐる状況は依然予断を許さない状況となっています。

このような世界とアフリカの状況下、100を超えるアフリカのNGOと日本のNGO連合、TICAD IV・NGOネットワーク(TNnet)がTICAD IVに向けた提言<Voices 2008-Recommendations from African & Japanese Civil Society to TICAD IV>を作成しました。本市民社会セッションの前半部分では、同提言を踏まえ、TICAD IVが真に貧困解決に寄与するものとなるよう、経済成長、MDGs、食料危機、気候変動、民主化等の課題を中心的にアフリカの市民社会が問題提起を行います。TICAD共催者、アフリカ連合(AU)、アフリカの現職大統領や元大統領、大臣を交え、活発に議論したいと考えています。

後半部分では、このところアフリカ開発の重要なアクターとして注目されている「民」の役割について参加者と一緒に考えます。TICAD IVでも「官民連携」は大きく取り上げられていますが、この「民」は大企業だけを指すわけではありません。日本語の「民(たみ)」という言葉が示すように、元々は人びとのことを指し、最近の「民」への注目は、人びと自身が変革を担いはじめていることの現われでもあります。例えば、アフリカHIV/AIDS感染者という当事者自身が立ち上がり、周りの見方を変え、政策を変え、社会に大きく貢献するという運動は、アフリカに留まらず世界中の人びとに感銘と勇気を与えてきたことはよく知られているとおりです。このことは、アフリカ協力の主体や手法、潮流を大きく変えつつあります。新しい時代を迎えた今、TICADはこのような新しい変革の息吹や潮流を前にどのように変わっていくべきかをテーマに後半部は議論し、締めくくりとして将来のTICADに対する提言を行います。

日時： 2008年5月28日(水) 14:00～17:00

会場： TICAD IV会場 横浜パシフィコ内 501ルーム

主催： TICAD IV・NGOネットワーク(TNnet)

※アフリカ地域で活動を実施してきた日本のアフリカ関係NGO43団体のネットワーク。

言語： 英語のみ

参加者： TICAD IV参加者、民間アフリカ協力者、著名人、メディア、NGO・国際機関関係者約120名



司会：谷村美能里（TICAD IV・NGO ネットワーク運営委員/ワールド・ビジョン・ジャパン）

時間	テーマ	発話者	
14:00-14:05	開会の挨拶	アフリカ・日本市民社会の代表	TICAD IV・NGO ネットワーク 黒河内康氏（TICAD I 議長） アフリカ市民委員会議長 Mr. Gustave Assah （通訳：TICAD IV・NGO ネットワーク 富田杏子）
14:05-14:30	<p style="text-align: center;"><b>問題提起</b>            ～TICAD IVに向けたアフリカ・日本市民社会の声～  <b>TICAD IVが貧困解決に寄与するように、経済成長、MDGs、食料危機、気候変動、民主化等の課題について問題提起します</b>            Africa Public Health Rights Alliance, Mr. Rotimi Sankore            PELUM Association, Ms. Anne Maina            African Centre for the Constructive Resolution of Disputes (ACCORD), Mr. Vasu Gunden</p>		
<p><b>パネル・ディスカッション ～市民社会との対話～</b>            ファシリテータ：ACCORD Mr. Vasu Gunden /  <b>TICAD IV・NGO ネットワーク (TNnet) 松田クラークンさやか（東京外国語大学准教授）</b></p>			
14:30-15:30	TICAD IV 共催者・参加者からの応答 (1人 x 3分)	モザンビーク共和国 元大統領  世界銀行 アフリカ地域業務戦略担当局長 国連開発計画 (UNDP) 市民社会ディレクター 外務省国際協力局 参事官 ジャーナリスト 2008年 G8 サミット NGO フォーラム/貧困・開発ユニット・リーダー その他 (アフリカ連合 AU 及び 現職大臣)	H. E. Mr. Joaquim CHISSANO Bono Mr. Hartwig SCHAFFER Mr. Thierno KANE 廣木重之氏 松本仁一氏 石井澄江氏 (JOICFP 事務局長) 調整中
15:30-15:45	<b>休憩</b>		
15:45-16:45	<p><b>オープン・ディスカッション (参加者全員とのオープンなディスカッション)</b>            ～新しい時代に TICAD (アフリカ開発会議) はどう変わるべきか?～</p>		
		ベナン共和国大統領 H. E. Mr. Boni YAYI 問題提起：「当事者・市民社会の参画の重要性」Results International, Mr. Zulu WINSTONE (Kara counseling and Training Trust)	
16:45-16:55	総括	日本市民社会の代表	TICAD IV・NGO ネットワーク 大林稔氏 (TICAD 市民社会フォーラム代表/龍谷大学教授)
16:55-17:00	閉会の挨拶	アフリカ・アーティスト	Roll Back Malaria 親善大使 Ms. Yvonne CHAKACHAKA